

発刊にあたって～内代地域にお住まいの皆様へ

平素は、地域の「安全：安心：住み良いまちづくり活動」にご協力をたまり厚くお礼申し上げます。

現在、内代地域では、防災、防犯・防火・交通安全、子育て、環境、文化、スポーツ、社会福祉全般にわたり、自主的活動を推し進めているところであります。

とりわけ「防災活動」は、皆様やご家族の生命に直結するものであり、これまでも災害に対処する回覧や、防災訓練（地域災害対策本部訓練）（内代小学校避難所開設訓練）、内代まつりにて防災ブースの展示などに取組み、実施いたしております。

このたび、「内代地区防災計画2016」を発刊いたしました。

どうか緊急災害発生時の手引き、参考書として身近に保管し、閲覧いただきますようお願いいたします。

さらに皆様の防災意識向上の一助となれば幸いかと存じます。

内代地域活動協議会

内代地区防災計画の目的・方針

地区防災計画とは

大阪市では、平成26年10月に大阪府から公表された南海トラフ巨大地震による被害想定を踏まえ、「減災」の考え方を防災の基本理念とし、「大阪市地域防災計画」を見直しました。



大阪市地域防災計画

また、平成27年2月1日から大阪市防災・減災条例を施行し、市民等の生命・身体・財産を災害から保護するため、市のすべきこと（公助）、市民・事業者の方々にしていただきたいこと（自助・共助）の仕組みづくりを推進しています。



大阪市防災・減災条例

地域の住民や事業者の方々の地域防災活動に関する内容を定め、地域での防災訓練の実施や、食料や水等の備蓄、高齢者等の避難支援など、地域の自発的な「共助」による防災活動を記したものが、「地区防災計画」です。

この防災計画の対象となるのは

ひとくちに大阪市といっても地域によってさまざまな特性があります。この防災計画では、内代地域（おおむね内代小学校区）にお住まいの方、またはお勤めの方などが活用できるよう構成しています。

この防災計画をより活用していただくために

この防災計画は、都島区役所のホームページにも掲載しています。スマートフォンをお持ちの方はダウンロードして持ち歩けます。



内代地域防災計画

都島区の特徴と予想される被害

（南海トラフ巨大地震）都島区における津波浸水の被害想定

平成25年8月および10月に「大阪府防災会議 南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会」で、被害想定が公表されました。その結果、都島区でも一部の地域が浸水区域に入りました。

大阪市の湾岸部には地震発生から2時間弱で津波が到達し、最悪の想定の場合、河川堤防がこわれたり、津波が川をさかのぼったり、被害をおよぼす恐れがあるとしています。（平成25年10月30日公表）

（区の人的被害）

被害状況	死者数
揺れ	17人
火災	1人
屋内落下物	3人
津波	153人

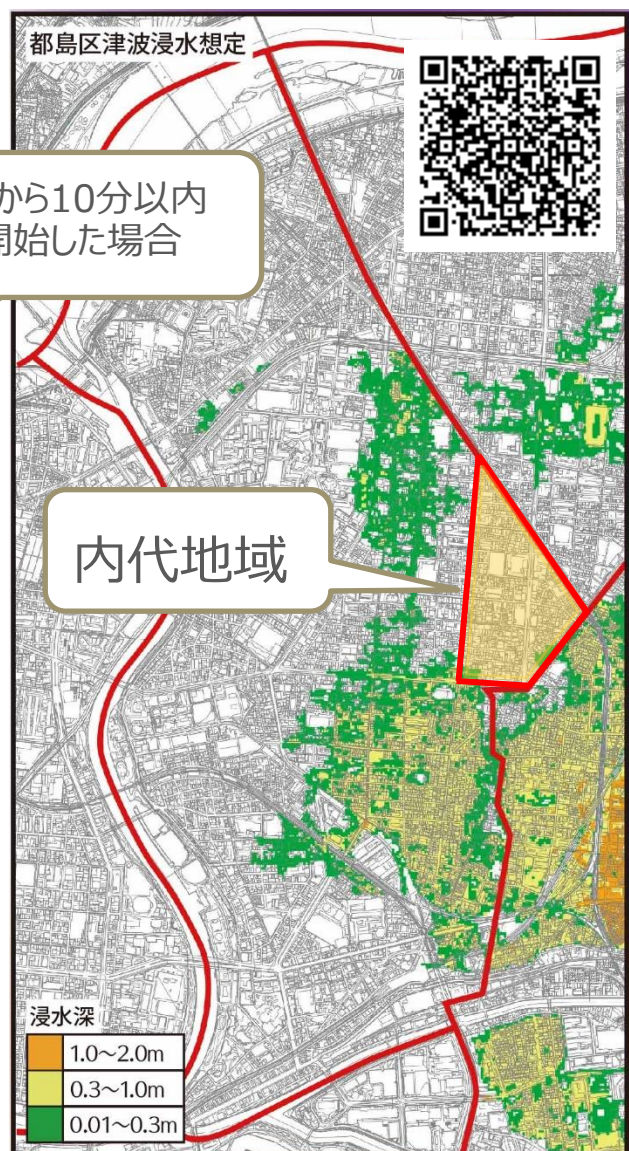
地震発生から10分以内に避難を開始した場合

津波被害による死者数

0人

（区の物的被害）

被害状況	全壊	半壊
揺れ	423棟	2,411棟
津波	19棟	1,411棟
液状化	2,012棟	4,224棟
火災	11棟	



内代地域の特性と予想される被害

（上町断層帯地震）予想される被害

（2007年公表）

	人口	世帯数	死者数	負傷者数	り災者数	避難者数
都島区	98,669人	48,351世帯	383人	1,105人	48,129人	15,883人
内代小学校区	5,993人	3,059世帯	53人	60人	4,902人	1,617人

	建物数	全壊棟数	半壊棟数
都島区	14,909棟	6,676棟	2,872棟
内代小学校区	1,491棟	943棟	201棟



（東海・南海地震）予想される被害

（2007年公表）

	死傷者数	負傷者数	り災者数	避難者数
都島区	4人	586人	5,028人	1,659人
内代小学校区	0人	53人	517人	171人

	建物数	全壊棟数	半壊棟数
都島区	14,909棟	451棟	899棟
内代小学校区	1,491棟	57棟	110棟

